

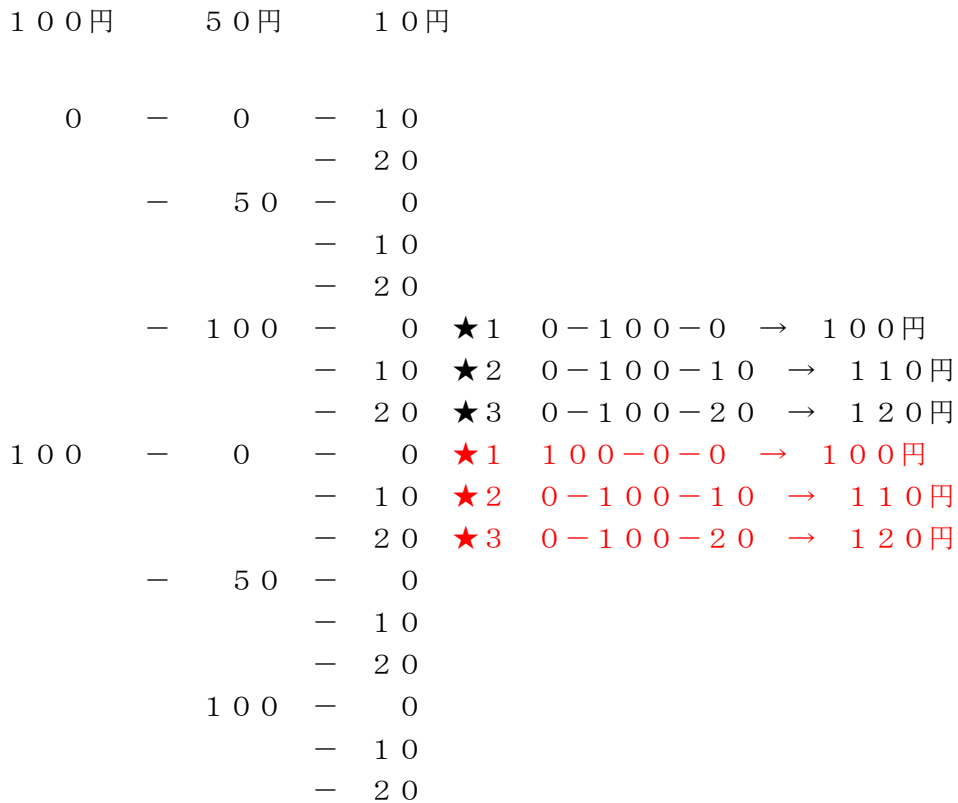
お金 (その3)

【例題】

100円が2枚、50円が2枚、100円が1枚あります。このときお釣りがなく丁度払える金額は何通りありますか。ただし使わない硬化があってもかまいません。

《解答》

樹形図を書くと



★1、★2、★3の金額はそれぞれ2つあります。

樹形図全体の数は17通り。同じ金額の支払い方は数えないので、上の樹形図の赤色の部分は数に入れないと、合計は14通りとなります。

答え：14通り